

# 初の国内発生を確認

## 新型インフルエンザ

### 神戸で高3、渡航歴なし

厚生労働省は十六日、神戸市東部の県立高校に通う三年の男子生徒（二七）について、国立感染症研究所の確定検査の結果、新型インフルエンザ感染が確認されたと発表した。国内で新型感染が判明したのは五人目。これまでの四人が水際で発見、隔離されたのとは異なり、国内での発生が確認された初のケース。同じ高校の二年生の男子（二六）と女子（二六）の二人も神戸市の詳細（PCR）検査で新型陽性が出たため、厚労省が確定検査。三人とも海外渡航歴がなく、厚労省は人から人への感染が国内で広がっている恐れがあるとして、接触者の状況を確認するため担当者を現地に派遣した。

2009年5月16日発行